

バストス週報

第三百四十三号
昭和卅一年十一月四日発行
DIRETOR KOITI MORI
REDATOR SHION ODA
RUA PRES. VARGAS 188 C. P. 112
BASTOS C. P.
ANUAL 100\$-

健康地バストス

バストス病院は

どうなる？

バストス病院は眼のお医者様として再出発した農田ドートルと、此のドートルを子のようにかわいがっている真下先生が自ら助手として去る八月から眼科喜同の看板をかけると押すな押すな盛況を呈していたが、十月一は日の約束だからと近いうち、看板をおろすことになり相だといわれている。

農田ドートルは元来外科婦人科等が本職から眼科以外の患者から「先生なにとお助けをと思つてお願ひ...」とたのみに来られると、眼の患者だけでも忙がしいので、「いや折角だが」と断れる苦だが、根が医仁だけに、ついあわれを催し、就床中たまたま起されることも一再ではないと言ふ。

ところがそれ程の人物だけにドートルを一バストスで専有するわけにもいかず、約束の期限だからと退去を宣せられても、どうにも打つ手が無い。「そりや、こゝまでせぬ」と取りすがつて泣く手ももう二度ほどやうていとすれば、三度目は、あなじ手はもう効くまい。このまま推移すれば、医師のいない建物ばかりの病院になつてしまふであらう。

○民間では、こんなやけ酒の唄がきこえる
「医者では、でてゆく 病院はのこる
ドッコイシ」

「のこる病院 立ちやされ...」

病院の経営者たる連日会の一幹事の言によると、できることなら日系の専任医師をたのみたいのだが、安ん結料では未てくれず、充分な手當をすれば赤字になつてしまふ。つまり收支のバランスがとれないと云うのである。病人が少く利用率が低下しているのを、又病人の中には、ここを素通りしてツパンへ行つてしまふものもある。だから、この病院を立ち直らせ、門前の雀羅を一掃するには、真下先生（農田ドートルも含めて）のような特技を振ふ営業方法でなければならぬ。

ドートル連の解散では、...ということである。バストスは健康地...

ALFAIATARIA IMPERIAL



コモバイ
コモバイ
といった彼
はリユーとていた
マルヤマの服で

丸山洋服店

WAKAMOTO



美人コンワール
シンサニハ
胃腸ノケンサモ
アルノヨ

わかもとガアレバ
ヌイジヨウビ

ケンコウ云ナイ
シヤン ナンテ
イミニナイワ

東京わかもと製薬株式会社
伯國總代理店聖市、ウリス、製薬會社
C. P. 三六五、六番

毎日のように大手術があり、不健康な病人がワンサと来るようでないといふ者は面白くないにきまつている。ここ七八年間にバストスの男女青年の体位は向上し、初見の死亡率は殆んどなくなり、結核患者なども見たくともない。というのがバストスの健康診断白書であるという。

「医者」がバストスに「健康」を感ずす。病院経営者が減収をかこつのも「健康バストス」の宣傳には、うつつつけだが、どりどり、お医者はいない病院を打ち打ち眺めて居る丈では、万一の要心にも事を欠く老人も、まだ可なり居住している事だし

お医者様に脈もとってもらえず、忽ち佛になつたりすると老人にとつても一大事だ。家族にも心の傷となる。お寺の方は用意が出来て居りますと言われても、それでは安んじたいは病院の方を何とか考へてもらいたいものだ。世の老人を代辯してお願いする。

此の献稿を進めていく頃連日会でも代議院会を聞いて善後策を協議することになつていく。そうだから何とかうまい智慧が出るかも知れないが、かりに發言権のない吾々が、無の智慧を絞つて見たところで、平凡な業しか生れてこない。

愚案の一 農田ドクトールのような人格手腕兼備の名医を四方手分けして探すこと。医は仁術なりという明治時代の言葉が通用するかどうかは別として、病院を無償提供(貸与)して、経営一切をまかせてしまふ案。

その二 医療組合案である。ドクトールは勿論適当な人を探さねばならぬが、経営は連合会(日会)とするよりも業になる。但し組合となるバスストス人の一大決心が必要である。病院経営の爲めバスストス人各自が資金を提供せねばならぬからである。

その三 フラ製糸会社が自社従業員健康の爲め病院をもつ。一般バスストスにも利用させる。但し経営に對して一概はくちばしを入れることはできない。

その四 フラ製糸会社の外にコナヤ、バンテラ、バスストス産組、南伯中、史など有力な組合が共同的にこの病院経営の爲めに手を組み合つて下されば一番よい案である。

その五 前述の商社 組合が主体となつて経営の一機關(医療組合)としてのものを作つて下さつても結構である。

その六 カトリックの僧院に(僧用)提供して経営してもらふ。

第一才二進は適當な医師を探すことが難点であるが、それさえできればあとはバスストス人の決心の問題だけである。才三以下は何れにも他人をかせる様だが、利用する者はそれ(組合)に加入せねばならぬ。第六は、いよいよ最後の案である。菊車お坊さまと尼さま委せである。

バスストスには個人で病院を同業している人もあるし、衛生局の役人も駐在して居られるから、病気の場合同業のお世話を受けられるよといふ意見もあるよである。一応、元々あるが、昔のことで病院という建物が有り、陛下から五千円の御下附

Sapataria 早SSS靴店

婦人ぐつ 各種 新型 入荷いたし ました



くつのことならどうぞ早川へ

エレイトラールへ急告

選挙権のある人は、新令により、ドクメントを新しく取得しなければなりません。来る十一月十一日(日)午前九時より元のフラヌク事務所へ。

おいで下さい

ドクメント用小型字真三枚
○元のドクメント必お持参

本人たちの気がかな場合、父兄より御注意を願います

十月二十一日 市会議員用

各位

年賀廣告 御申込下さい

バスストス週報社

金があり、それにより、植民者の據金を加えて建つた記念の恩賜病棟も付属して、なると、何とか自分らの手で作り立てて行きたいとの念願が自かとして生じてくるのである。お医者さんさ一人居て、ワシが受倒見よう、といったくれば、それを万事OK一応は片づく問題なのだが、その一人が、居そうで中々居ないものである。

一層のこと粗食時代にかえて健康状態を悪くして、せいせい病院通いをすれば、馬鹿なことを、今の健康バスストスなどの位ありがたいか、知れぬ療養費だと思つて医療組合に出資する位の決心を此際、ふり起すことがバスストス人の務めではないであらうか。(一九五六年、オホノ音)

必ずとれる 諸の作り方

フラジルのような高温で日照強く乾燥するところでは、早作と虽へども理論を忠実に行うのは容易な事ではない。諸作りも三年、今年に誰にも容易に行はれる、次の様な方法をとつてゐる。整地された畦に挿す新梢の葉を茎に沿つてしごき上げ、植穴は深く充分水分のある迄掘り、それに直立挿をする。この方法をど別に雨降りを待つ必要なく、すぐ根を出し先が伸びて来る。四十センチ内外伸びた時摘心し、その茎を水平挿と同じ要領で葉を出し埋める。するとすぐ脇芽と新根が出る。これは先がつかれてゐるのと同化作用も不都合なく、行われいてゐるからである。この方法だと始めに出た白い新根は殆んど肥大根としその諸になる性質を持つて来る。この新根が一〇センチ位になつた時、株間に二芽程を残して坊り離し親株は抜きとつてやる。又株間をニメートル位に挿した場合の方法で根の出たものを植替え後の親株の二芽残してある新芽が一週間もせぬうちに四〇センチ位になるから摘心して根の左右に前の様に水平に埋める。白い根が一〇センチ位になれば親株を坊り離し、元の親株は掘りとりつてやる。此の場合三〇一四〇諸がついても大小が揃う。坊り高さを坊りおけば沃山の諸になりかたはこれに直挿した部分に三―五個の諸が先にできる為め、この位の巨高とのずれでは後から出来たものは絶対に諸にならない。

この方法はいつでも行える。坊り離してないから葉一枚損せず摘心してあるのもとから水心と養分を送るから、すばらしい勢で各節から脇芽が出る。同化作用は異常なく行われてゐるので各節から出る新芽は澱粉をためる諸となる性質を持つてくる。私是一般の方のこの方法を推奨するものです。(小野山生)

各區青年団では手わけして、諸をフロロエントとして、研究を進める由であるが、準備出来次第、研究を集めて第二回甘藷栽培講習会を催すとの事である。期日、会場等後報。

迷ひ手紙 (預り所 週報社)

受取人 差出人

青山 教男 さん
 福地 アケミ さん
 佐藤 ウメ子 さん
 吉武 熊一 さん
 青木 安平 (ロッキン) さん
 永野 ヨシエ さん
 田中 イサオ さん
 上田 セイ (フクログソ) さん
 寺沢 宇央衛 さん
 三野 製菓店 さん

ガラサイ 寺坂 繁史
 サンパウロ・リトル・ラフ・ラフ 共同
 パラナ・マンダリ、ベレーカ
 山口県 和田 中 学校
 福島県 鮫川村 鈴木 教吾
 福岡県 朝倉村 永野 シヅ子
 ツパン 飛行場
 ロヤン・カレ・イ・ウ・ラ・より
 野村 佐藤 さん
 アムラ・シナ 国武 イサオ

御 礼

去る十月廿三日(火)卒業式費用捻出の爲めシネマの入場券を皆様に買つていただきました。御蔭を以て予定の金額を入手できました。茲に御協力下さった方々に厚く御礼申上伏します。

サンジヨセ
 高等商業三年生



完全なトラクタ
 は
 アクロンの
 使用から

クリアードールの皆様

アクロン 半ピンを

一俵の塩にませて
 牛に与えて下さい

パストに於ける牛の死は
 せつたいになくなりませ
 色々な鉱物、大効な性分を含有
 して居りますので
 是非 実行して下さい

詳細説明書差上げます

代理人

ササキ薬局

AKRON

ニューカッス病の思出あれこれ

聯邦直轄州溝口余滴

本年十月ニューカッス病が聖市附近に發生し蔓延の形勢にある由、御地にも亦一
つ心配のタネがふえた事、以てことなり
本御同情申上ります

三年前リオ市近郊に發生し、ひろがって
いた運絡にかんがみ、思ひますさえ
慄を感じます。あの時は北米から予防液
(ビルホ)を取寄せ、ジストリット、フェ
テラール内は農務省の技師が出張し、又
個人的にこの技術陣に協力する者も多く
片ゆしから注射を施しました。その結果
は、とうていよう、産卵はピツタリとま
しまし、二割見当の鶏が倒れました。ま
だそれでも全滅するよりましとあきらめ
ました。中には注射をかえんじないケラ
ンジャがあつて、それが一週間或は十
日後には、全群全滅という、すさまじい
被害で附近の人をふるい上らせました。
その後、その後半戦程を以て農科大学でジスト
リット内の養鶏業者及技術者のレウニオ
ンがありました。協議の結果今後予防注
射施行は各人の任意とさまりました。同
席上では生毒予防液によつて病菌を蔓延
せしめたのだという声も起り、いつか完
生して居る北米の生毒予防液は強さる
。フラジルの気候風土に適したものを作
るべきだとの意見もあり、又長年北米で
予防液製造を研究した技師が故郷のチリ
一國に帰り死毒予防液(モルト)を研究完成
してゐる、その液を取りよせることなど
も、その会合で論議されました。それらは
生毒液施行以来半歳の早い体験の結果で
あつたことなどを思い起します。
リオネジャネイロ州には強制施行がな
かつたのでその年の犠牲はまぬかれましたが
大きな養鶏業者であるケラジャ、パライ
に次年祭生し全滅に近い犠牲を出した外
鶏糞まで全部焼却とするというようにな
まことがあり、次にケラワナ、バ
ランジャが、やうれ相次いでカンボスラ
ンズの孵卵場が全滅するといつた。まこ
とに、安き心もないやうな明け暮れが
つきました。
ふりかえつて見るに、これらの犠牲のよ
つて来る原因は、何れも人の出入りの繁
しい地帯であること、それから、その環境
におかれ、スランジャは最も嚴重に
予防対策を講ずべきだといふ結論が生れ
ます。ギセイとなつた各ケラ、バ、其の他
もニューカッス病に対する防疫対策にめ
る処があつたと云うより外ありません。

メランシア 西瓜の季節です

西瓜の委託販賣は

確實で最高の値段

支払いは敏速にいたします



トスヨウニ売レル
バストス西瓜

聖市での販売は其道の一流人が取
扱うので最も有利です

出荷は、也ひ左記へ

生産組合代理人 泰治

取次店

前山商店

ニューカッス病は毎年十月頃より翌年二
三月頃までが危険期とされて居りますが
同期には他の伝染病も盛威をふるうので
困りものです。昨年吾々の植民地より東
チキ口のケイマ、トス地方にニューカッス
が発生したとのパウリス、又新聞での記事に
驚いて大学へ問合せた処、病原菌が疑似
コレラと判明し、キンタール飼いの栄養
不良鶏に発生したものでありました。又
カスカットラで発生したと騒いだことも
ありましたが、シラミ、蚊の媒介による
エスヒリゲト、セ、あつてほつとする
も、このころ養鶏家もジャリナリズム
も、ともに神聖をつからせました。
最近のことです。が、ヒラネ、植民地へ
移植院直轄、当植民地より西へ十五キ
ロに発生したとのニュースがありました。
予防液施行の相談を受けたので、
施行による犠牲を思ふと誰も進んで、
うとは、おわす、農大では無料で生毒防
液をくれるといひ、たのめば技師も出張
してくれる地点に居り乍ら、まア、
少く様子を見よう、スランジャの鶏が倒れ
る様に、おなつたら、その時は、その時
のこと、いや、応なしに施行と一時見送り
になりました。
もしバストス地方もあぶないというよ
うな事になれば、予防実施は出来る限り

死毒予防液を使用すべきであり、もしも死毒液で点眼器で一二滴鼻孔へたらすだけ、の施行方法でも産卵には影響があり、す。私たちが当植民地での施行では、ニュー・ハンフリンジャーより白レムの方が影響は大きかったと云ふことだ。

エスロリケトーゼの犠牲には再々けいけんのあるバストスの妻です。から、ビクビクする事もあり、すまいが、もしも発生を見ようとする場合は、その時こそ生毒予防液を施行して犠牲を最少限にしたいと、め、る事、今、御研究あつてよろしく、かろうと存じます。(一九五六年一月二日、私信転載)

廣告

来る十一月二日午前九時より、榎旅館に於てセラリア斜向にある当会所有の五五を左記により競売いたします。

一、タツタ五五分割せホ一とまとめとす
一、最低価を三〇〇のホ一といたします
一九五六年十月十六日
バストス連合日本人會

宮武さん 逕過良好

声の出ぬ病氣になつて上野加藤中であつた花の先生宮武勝甫さんは十月廿五日咽喉のオペラ終了、氣遣われたい大手術にも拘らず逕過良好の由、帰植の日は不明だがお弟子さん方も之で愁眉をひらいたことであらう。

夏の雨

池の面へのふり上る夏の雨 稲花
育つ用によき骨休め 夏の雨 奇峯
バナナの葉かぶし来る子や夏の雨 水仙
夏の雨すかけ合うて散る学徒 和枝

(バストス木曜会 作是)

FOGÃO PHILIPS



家庭の都合で、五六回使っただけの
フォゴン・フィリップス
を格安にゆづります
調子よろしく一つも欠陥ありませんから御安心下さい

ご入用の方は 週報社まで
(姓名在社)

温情巡査

名乗り出た凶悪犯

南国の朝

南海の島、小手をかきせば、はるか麻見島の突端を望むアマミ大島(註、エノキ常孝老の故郷である)今日もギラギラやけつくような太陽が朝から照つてゐる。その下を名瀬警察署の古ぼけた自動車は、こりこりボコボコな道を走つてゐる。七月十八日午前十時頃の鹿児島県アマミ大島名瀬市浦上附近でのいつものようなけだるい暑さのみなきつた風景だ。

この古ぼけた自動車の中は、九一年半警視庁捜査課隊員死の追込を、ゆうゆう坊り抜けていた銀座組債商殺人事件の犯人、塩塚正敏(30)がけるかける旅路の果て、オレの人生もすてにこれまでと名瀬署浦上派出所の名越巡査に自ら名乗つて出て生れて初めて強盗殺人犯人を檢挙した名越巡査が塩塚の片手にかけられた手錠を、死んでもはなすまいとが、ちりにぎりにめていた。

車の中は、しかしとでも和やかな空気が流れていた。ゴトンと石ころのデコボコ道で車が大きくゆれると、殺人犯人塩塚はゆらりと体を名越巡査にすりよせて、は、おれはあんたが好きだ、だから自供したんだ、真さんや子供さん達によろしくね、とくりかえしくりかえし話しかける。うん、お前も今後よくつとめよ、とほおほほころはせる。

二人な会話の合間には名越巡査がホケウトから「んせ」を出して、いぬいに火をつけて塩塚に渡す。受取つた塩塚はうしろに深くと吸いこんで、オレは名越さんが好きなんだ、好きな(次頁へ)

O ESTADO de S. PAULO

オエステイト紙

来る十二月末で本年度分が終ります。故、引つゞき御購読願います。十二月の中にお忘れなく御通知下さい。

養蚕家には本紙型が一番役に立ちます。一読後はサンパタへ、使用すれば一挙兩得です。

オエステイト取次店
バサールホンボ 守越商店

あなたに自供してよかつた。……とつぶやく。それは十年の知己のような親しさにあふれ、殺人犯と巡査などというさわりどい対立感ほみじんもない二人のやりとりだった。

名越という巡査

名越さんは今年廿四歳、巡査になってまだ四年。目を、拝命した時奥さんの子リ子さん(29)との間には長女絹代ちゃん(4)と四歳、長男の政男ちゃん(2)が二歳になった。いた。スタートは遅かった。戦争で引揚けて来て立直ったのだから。

拝命してすぐ名瀬署に勤務、すうと本署勤務がのびて昨年九月初めての駐在勤務を浦上に命ぜられた。名瀬市の浦上は朝夕潮風の吹く小さな港をのびる街、より子さんに子供を二人つれて引越して来て見れば、受持ち一帯は何の困難のよみを感じられぬた。よいの音が街のすみずみに感じられた。

生来多感で物事を深く見つめたい名越さんはこの小さな街の底深くたどるようがわめきは一休なんだろうと考へはじめた。着任してふた月めのある事に気が付いた。それは浦上が荒見島からの連絡口で内地方面からの流れ者がとても多いといふことだった。

この街のざわめきとは「手」をうつつてさささつた。探して見ればいるわいるわ、飯場から飯場へ渡り歩く「カラス土エ」出生地を聞けば血の走る程下くちびるをかみしめて一言もしゃべらぬ女給、なにかありそう

な人間が次から次へ見つかってくる。名越さんは、このだれもがやりきれぬ寂しさに取りつかれ、ある者は酒にひたり、ある者はあはれ、やけんなり、またある者は強烈なノスタルジア(郷愁)がう明けくれ放心の暮しを続けたいのを見て取った。

「そうだ、この連中の心のツエとなつてやることこそ、オレが浦上駐在を命ぜられた使命の大半だ」と決心した名越さんは以来、流れ者と見れば自定によび、妻のより子さんとともに食事や分け茶をのみみ合つては話してこんだ。時には流れ者がフトコロ深くもつて、たてき母親の写真をみせさせて、名越さん一家も一しよに産をそろえてお経をあけて何年目かの法事をしよやつたこともあった。

この名越さんの管内に塩塚がたどりのいたのが今月三月の末、工場場の土工なをいしていたが、名越さんの流れ者台帳にのるようになり、名越さんのしよかな温い看視の目の下にあった。(つづく)

週朝八月五日号より

95-11-4

ALBATROZ

Sabão Lava Melhor



オタイドコロ
オセンタク

よかれものは
よくおちる
かたちのくづれない
てのあれない
ソシテねだんのです

サボン
アルバトロズ

ドノ店ニモアリマス

NOSSA RELOJOARIA

AV. TAMOIOS, 785 Tupã



ナタールのカレゼンテに
時計 指輪 首飾 その他
いろいろ揃って
居ります
ぜひ一度
ごらん下さい

ツパン
アベニタ
タモイヨ
785

サ時計店

警察より注意

○ 幼児シネマ入場禁止

五歳以下の幼児はシネマ館に連れて入ることを禁止されています。警官が居てブレッツカれます。

○ ボンバ(花火)について

集会などの通知合図の為のボンバをうち上れる時は事前に必ず、フレガシアに届けてリッセンサを受けられなければなりません。無届でやることはキャンセルを受けません。

石は当警察署長 Dr. アタイール氏よりの注意につき市庁下さい。

ホンカン栽培販賣実行組合

元ホンカン栽培組合は念々出荷販売にのり出すことになって十月廿八日一律全館に於て表記の如く看板を大きくぬりかえ再発足すべく創立総会を開いた。苗の地訪からホンカンの販賣技術指導共同購入等に至る進手をわけてやることになった。組合長 畑 理事 上西 山中 植原 松森、本田 樋口の諸氏

(de 15)

Continuação

SWR WILLIA

-Hector Malot-

"ao querendo apurar o desespero do políctia, chamou "Joli-Coeur" mas este não estava

(de 22)

Continuação

SWR WILLIA

-Hector Malot-

Mas não tive que lhe fazer esta confissão porque chegámos ao hotel onde Mrs. Willigan estava hospedada; antes de ter acabado de contar a minha historia. Tambem, Vitalis não me disse nada da carta de Mrs. Willigan e não me falou nas propostas que ella lhe devia ter feito nessa carta.

- E essa senhora espera-me? disse elle, quando entramos no hotel.

- Espere, vou conduzi-lo ao quarto dela.

- Não é preciso, dá-me o numero e fica aqui á minha espera, com os cães e com Joli-Coeur.

Quando entrei no quarto de Mrs. Willigan, encontrei Artur banhado em lavrimas, e sua mãe debruçada para elle, consolando-o.

- Não é verdade, Penitio, que não se vai embora? exclamou Artur.

Foi Mrs. Willigan que respondeu por mim explicando que eu devia obedecer.

- Pedi a seu amo que o deixasse ficar conosco, disse-me ella, com uma voz que me fez subir as lagrimas aos olhos, mas elle não quer sentir nisso e nada o poudo decidir.

- É um homem mau! exclamou Artur.

- Não, não é um homem mau, continuou Mrs. Willigan, o menino é-lhe util e tambem creio que elle tem por si uma verdadeira afeição.

Tão levei-me rapidamente e correndo para a porta:

- Artur,erei sempre seu amigo! disse eu com a voz entrecortada pelos soluços, e a si, minha senhora, nunca a esquecerei.

- Penitio, Penitio! gritou Artur.

Mas já não ouvi mais nada; tinha saído e fechado a porta.

Um minuto depois estava ao pé do meu amo.

- A caminho! disse-me elle.

T saímos de Cete pela estrada Frontignan.

Foi assim que deixei o meu primeiro amigo e me lancei em aventuras que teria evitado, se victima dum preconceito odioso me não tivesse deixado enlouquecer por um receio tolo.

Fui novamente obrigado a seguir atraz de meu amo e, com a corda da minha harpa passada por cima do ombro dolorido, a caminhar pelas estradas, tanto á chuva como ao sol, tanto com poeira como com lama. Fui obrida a fazer de estúpido nas praças publicas e a rir ou a chorar para divertir a respeitavel sociedade.

A transição foi rude, porque nos habituamos depressa ao bem estar e á felicidade. A ideia de meu amo era de chegar a Paris o mais depressa possivel, porque só em Paris tinhamos probabilidade de poder dar algumas representações durante o inverno; mas fosse porque o estado da sua bolsa lhe não permitisse tomar o caminho de ferro, fosse por qualquer outra razao, era a pé que tinhamos de fazer o caminho que separa Dijon de Paris. O vento não se conservou secco; o ceu enchou-se de grandes nuvens negras, o sol desapareceu, e tudo annunciou que brevemente teriamos neve. Não tinhamos ainda andado muito e parecis-me impossivel chegar a Troyes antes da neve; tambem isso pouco me inquietava e pensava até que a neve caindo feria cessar aquelle vento norte e abrandaria o frio. Mas não sabia o que era tempestade de neve. Não tardei a aprende-lo e de modo a nunca mais esquecer essa lição. As nuvens que vinham do nordeste tinham-se aproximado, e uma especie de clarão luminava o céu daquelle lado; os seus flancos tinham-se entresbertado; era a neve. Pela minha parte sentia-a descer em arua fria pelo pescoco, e o meu amo, cuja pele de carneiro estava levantada para deixar Joli-Coeur respirar, não devia estar mais bem protegido. Porem continuavamos a andar contra o vento e contra a neve sem falarmos; de tempos a tempos voltavamos um pouco a cabeça para respirar. Os caes já não iam adiante, seguiam-nos de perto pedindo-nos um abrigo que lhes não podiamos dar.

Avançavamos devagar, com custo, cegos, molhados, gelados, e posto que estivessemos já ha bastante tempo em plena floresta, não nos achavamos de nenhum modo abrigados porque a estrada era exposta ao vento. Felizmente esse vento de tempestade enfraqueceu a pouco e pouco; mas então aumentou a neve, e em lugar de descer em poeira, caiu grande e compacta. De repente, vi Vitalis estender a mão para o lado esquerdo, como para chamar-me a attenção. Olhei, e pareceu-me distinguir confusamente na clareira uma cabana feita de ramos. (Continua).-

養鶏家各位に急告

既に御存知のようにニューカッスル病が聖市近郊から中央線にかけて五十ヶ所以上発生し蔓延をつつて居ります

わがバストス移住地へ此の病気が浸入したうとうでしよるか、実に恐ろ可き事態を惹起します

本病予防対策について至急皆さんと連絡懇談を致し度く存じます

十一月十日 正午

バストス産業会館 における

ニューカッスル病 防衛対策懇談会へ

御出席下さい

(山田、浅井 校師の話もあります)

バストス・ニューカッスル防疫委員会
委員長 畑中 仙次郎
副委員長 水馬 久

各位

皆さんに御相談

わたくしたちの会館

バストス産業会館が改修されました

○舞台が本式にでき、席もだいぶ廣くなりました

○十月廿七、廿八日、日曜学校生徒の演奏が、ひらかれた時、入場しますと、後方三分の一の人々は立って見ていらつやます

○バンコもカネイラもなないのです

△折角会館が立派になつたのに、これで

△宗教上の集りも、演芸も、青年団も

△みんなが使ふのだから、みんなで、自分

△自分のカネイラを、もとうではありま

△シネマ館にあるような式で五人分を一

△同志の方がありませんか、名をうらね

下さい、詳細は号 週報社

太郎田商店の

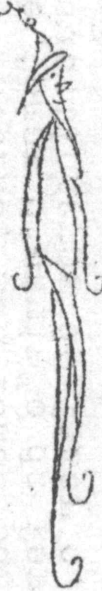
懸賞ボナンホナム

Venzenex

□は順調だし□からす□からす
□物は、この□梅だと、まづ□作
だ。これというの□□□□
□スのおかけだよ。□虫にやられ
るから□の□業ではありえない
よ。□備にも□□註文する

右の文中□の所へ適当な文字を書き入
れて十一月十四日迄に週報社C.P.112
へ御送り下さい、正解先着十名様へ謝
書を呈します

宛名 O PROGRESSISTA C.P.112 Bastos



Casa Taroda

ミシン ヲ オモトメノ セツハ
テイス フレストソンノ
シンセル ヲ タロダショウケン
ヘ オモウシコミクタイ

バストス寫真会の奉仕

おしらせ

北米遠由 母国訪問

旅の印象 五巻

目のさめるような美しい
総天然色映画

北米ニューヨーク夜景、ワシントン橋、
サンフランシスコ入港、ハワイ見物

東京、大阪、京都、祇園祭、ホコ祭、
和歌山県の因舎、広島原爆の心地風景

（小学生以下の子供さんは入場断り）

前回発表の期日会場変更になりました

期日 来る十一月十二日 午後八時

会場 産業会館ハ左記ニ変更

入場 無料 シネバントランテにて

主催 バストス寫真同好會